

第3章

# 将来の目標像 [3つの目標像]

「現在の魅力を更に伸ばす」、「現在の課題を改善する」、「社会情勢の変化に対応する」の3つの視点から天神の将来の目標像を設定しました。

それぞれの目標像から今後取り組むべき戦略を構築していきます。

また、将来像については、今後の取り組みの際、活発な議論となるように、通りと交通についてはイメージを示しました。

視点1：現在の魅力を更に伸ばす

九州最大の商業・業務施設がコンパクトにまとまり、多種多様な施設や催しがあり、多くの人を惹きつけている。

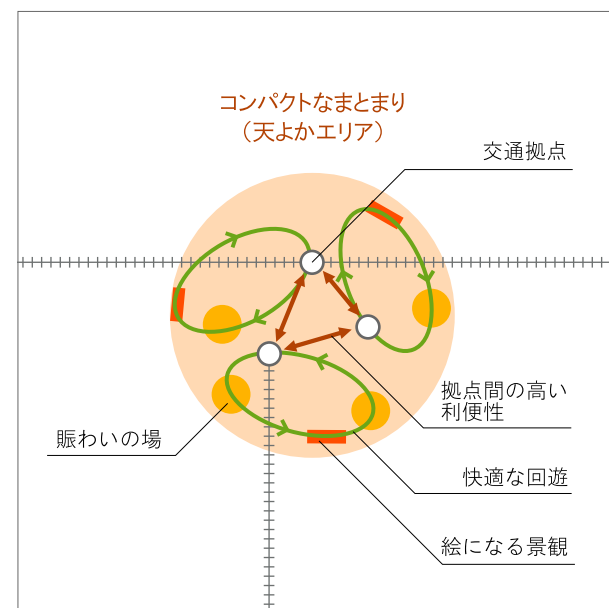
目標像1

上質に洗練され、いつも賑わいがある  
『歩いて楽しいまち』

ユニバーサルデザインが街中に浸透し、上質に洗練された都市空間が創出され、イベントなどで賑わい、まちなかがコンパクトにまとまっており、新たな発見と出会いを感じることができ、街中がおもてなしの心で満たされている  
—そのような、「歩いて楽しいまち」を目指します。

- 戦略1 毎日がフェスティバル戦略
- 戦略2 ふさわしく絵になる戦略
- 戦略3 てんぷらエンターテインメント戦略

目標像1の概念図



視点2：現在の課題を改善する

モラル・マナーの低下、都市環境の悪化が進み、慢性的な交通渋滞や自転車の迷惑な駐輪などが問題になっている。

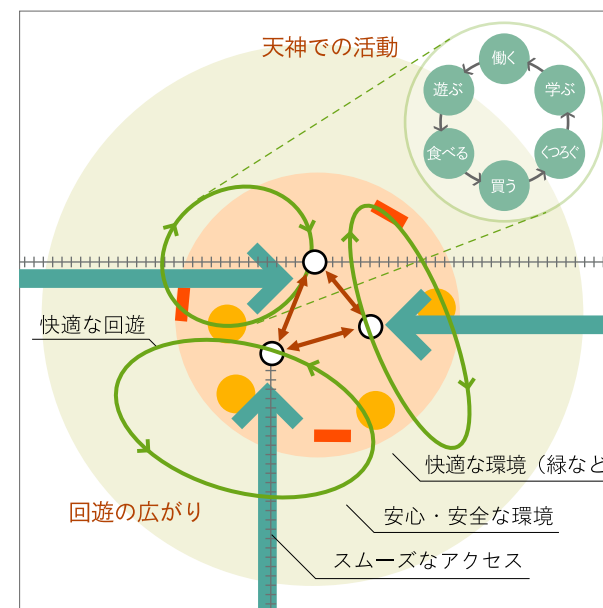
目標像2

環境にやさしく安全安心、だから誰もが  
『心地よく快適に過ごせるまち』

誰もがスムーズに天神を訪れ区内を移動できるように歩行者を優先する交通体系を確立し、高いモラルマナーでお互いを思いやりながら、身近な自然環境が充実し、地球環境にも配慮している  
—そのような、「快適に過ごせるまち」を目指します。

- 戦略4 「乗りモノ」スマート戦略
- 戦略5 大人のまなざし行動戦略
- 戦略6 快適クーリング戦略

目標像2の概念図



視点3：社会情勢の変化に対応する

少子高齢化による人口構造や九州新幹線全線開通、建物更新期の到来などによる都市構造の変化。

目標像3

変化に対応し、アジアの中で  
『持続的に発展するまち』

九州・アジア生活圏時代の都心を見据えた高度な都市機能を備え、国内やアジアの「人と資金」を積極的に受け入れる拠点となり、新しい芸術文化を創出できる環境が整い、「We Love天神」の精神で人々が集い、活動している  
—そのような、「持続的に発展するまち」を目指します。

- 戦略7 「天神が舞台、天神が地元」戦略
- 戦略8 まちの新陳代謝戦略
- 戦略9 アジア客ツーリズム促進戦略
- 戦略10 「We Love 天神」づくり戦略

目標像3の概念図

